

義太夫

義太夫協会会報
第84号

平成19年1月1日

社団法人 義太夫協会発行
〒104-0061 東京都中央区銀座
4-13-11 文明堂3F
TEL・FAX (3541) 5471
http://www.gidayu.or.jp

新年おめでとーうございます

社団法人義太夫協会会長

波多一索

今年も会員の皆様とご家族にとって、また協会にとってよい年になりますよう新年を迎えるにあたりお祈りいたします。

昨年は東京の国立劇場が開場して四十年の年にあたり、九月には常陸宮ご臨席のもとに盛大に記念式典が行われました。また、日本の太鼓「空海千誓」、字幕つき文楽「忠臣蔵」通し、三ヶ月にわたる歌舞伎「元禄忠臣蔵」全十編（真山青果作）ほか様々な記念公演が行われ、いずれも満員の盛況でした。

以前この会報で、これからはお客様の意見も、公演活動に取り入れる必要があるのではと書いたことがあります。昨年は、公演部の

皆さんの努力で女流義太夫公演のチラシが、大変色彩豊かな写真入りになり、演奏者による解説が行われるなどいろいろと工夫がなされ、お客様の評判もよく喜んでおります。

先日、老舗に関連して桜餅や芭蕉の句碑で有名な長命寺のことを調べておりました。桜餅の山本屋の元祖初代山本新六が、享保二年（1717）隅田川の土手の桜の葉を集め、塩漬けにして桜餅を考案、長命寺の門前にて売り始めたのは義太夫が江戸で行われはじめた頃で、それ以来290年もの間、隅田堤の桜とともに名物として今日に至っております。さっぱりとした皮の厚さ、餡の風味はもとよ

り、他の店では一個につき葉を一枚でくるむのを山本屋だけは三枚を奢るなど、長い間にはいろいろと工夫をこらし、そのことで人々に喜ばれたといわれています。

演劇研究家の藤田洋さんの一文に、「継続」と「持続」という言葉があります。長いこと物事を続けることでは同じですが、「継続」とは「前の状態が続くこと」と言う意味があり、「持続」は「保ち続けること」とあります。並べると「長く続いていて内容的に品質を落とすことなく、その質を保っていること」になります。

今年もまた先人の方々の教えを受け継ぎながら質をおとすことなく、大切な遺産を次の世代に受け渡してゆく工夫努力を積み重ねてまいりたいと思っております。

皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。



加賀春 なごち年賀状

昨年は病いに明け暮れて居りましたが、なんとか年を越すことができました。変らぬ御交誼をお願い致します。 朝重

あけましておめでとうございます。ハンカチ王子のように、爽やかに、かつ精神面も鍛えてがんばりマス。 綾一

昨年11月に初孫が誕生いたしましたのを励みに、今年も元気に頑張ります。 綾太夫

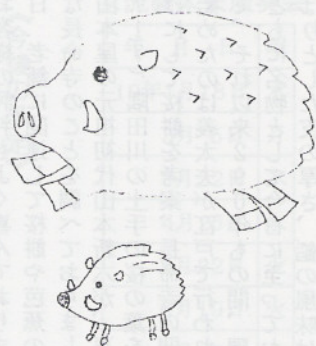
明けましておめでとうございます。猪の様に元氣よく突進してゆきたいという気持ですが……今年もよろしく。 綾之助

祖母が白寿を迎えます。ますます元氣なようので心強いです。目指せ長寿世界一!! 賀寿あけましておめでとうございます。整理整頓を心がけて、今年は運が逃げないようにしたいと思います。 寛也

行きつ戻りつしながら、前向きに、何事にも取り組んでまいる所存でございます。 喜恵博

迎春 お陰様で初舞台を勤めることができました。これからも気を引締めて頑張ります。 京之助

物理学者へ、これ以上地球を壊さないで!! 化学者へ、これ以上毒を作り続けないで!! 地



球に平和の曙光を希って。 幸治
今年初舞台から二十五年になります。なにしろ子供だったものですから(違うか。)

越京

新年おめでとうございます。今年こそダイエットに、そして稽古に精一杯励むことを誓います!! (甲子園球児調で)

越孝

迎春、新春、頒春、寿春。私はいつでも：今年で九十五歳。健康診断では「どこも悪くない」と言われました。皆様もお元気で一年をお過ごし下さい。

越春

新年おめでとうございます。皆様明るい良い年になりますように。私はスロースタートよろしくお願い致します。

越道

振り返れば、人生経験は大切だなあとと思う今日この頃。今年も様々な勉強をして大きく

越若

なりたいです。 昨年は生まれて初めて激太りしてとまどいましたが、最近は大太っている自分がおもしろくなってきました。

駒清

駒治

新年おめでとうございます。初心を忘れず、健康に留意し、今年も舞台を一つ一つ大事に勤めて参りたいと存じます。 駒之助

謹賀新年。今年の目標はRhapsody in Blue (ピアノソロ)を弾くことです。これ、このところ毎年の目標なのですが……。三寿々新年おめでとうございます。本年もよろしく御願ひ申し上げます。 谷太夫

おめでとうございます。いつものようにのんびりとしんぼうづよくしようじんいたします。どうぞよろしくお願いいたします。津賀榮 昨年は変わった新作に挑戦する機会をいただきました。今年にはなにかおこるでしょう?!

津賀寿

今年も初心を忘れず、稽古に励みたいと思えます。どうぞよろしく御願ひ申し上げます。 津賀花

津賀花

健康に気をつけながらも、猪に負けじ、と突走ってゆきたいと思えます。(大丈夫かな?) 土佐恵

土佐恵

新年おめでとうございます。雑念多い中、芸道は猪突猛進でゆきたいです。 土佐子

土佐子

おめでとうございます。猪のように走れません。今年もポチン、気を付けて歩きます。手を引いてネ。どうか宜敷く。

友路

あけましておめでとうございます。今年も健康に留意し、自然体を心がけていきたいと思えます。 道太夫

道太夫

あっという間に過ぎる毎日。何とかならないでしょうか。今年メリハリのある生活を目指します。 素丸

素丸

新年おめでとうございます。今年も多くの笑顔と出会える様、心の灯を燃やしていきたいと存じます。

昨年、妹がふえました。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年の御慶びを申しあげます。本年もよろしく御願ひ致します。

新年おめでとうございます。猪突猛進の年にしたいと思ひますが、頭は鈍りきって思うようには行きません。

此れからの芸能活動に株式会社「弥乃音」を立上げました。舞台、稽古にまだまだ頑張ります。今年もよろしく。

義太夫教室四七期生の横瀬です。昨年十月正会員の末席に加えて頂きました。努力無限、宜しく願ひします。

明けましておめでとうございます。未熟者ですが、どうぞよろしく願ひいたします。

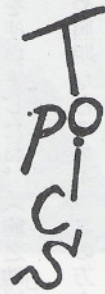
平和な年であります様に、今年も昨日より今日、今日より明日……と精進して参りたいと思ひます。

新年おめでとうございます。今年も幸せを感じられる、心あたたかな時が、皆様にたくさん訪れますように。



事務局長 柴田

正会員



|| 新正会員のご紹介 ||

昨年、新たに正会員が誕生いたしましたので、ここでご紹介いたします。

国立演芸場で十月二四日に行われた女流義太夫演奏会の「十種香」で、竹本駒之助門下の竹本京之助さんが、郎党の役で初舞台を踏みました。

また翌十一月十六日の公演では「仮名手本忠臣蔵」の八段目で、竹本弥乃太夫門下の鶴澤弥々さんが、ツレで初舞台を踏みました。二ヶ月続けて初舞台の出演者がいたことにより、新しいお客様にも来ていただけるきっかけとなり、華やかな客席となりました。

また、同じく弥乃太夫門下の竹本弥舟さんも見習い期間を終え、今後は正会員として、演奏活動に勤しむ予定です。

見習い期間には演芸場の手伝いのみならず、じよぎ、ぎだゆう座の公演では御簾内や口上なども体験しましたが、これからはいよいよ舞台出演の機会が増えてきます。今後とも、この三人のご声援をどうぞよろしく願ひいたします。

弥舟 「正会員として心新たに精神して参



写真右から
鶴澤弥々(館林綾子)
竹本京之助(田上愛花)
竹本弥舟(横瀬美保)

る所存でおります。今後ともご指導のほど、宜しく願ひ申し上げます。」

弥々 「まだ未熟者ですが、よろしく願ひ致します。」

京之助 「精一杯頑張ります。よろしく願ひ致します。」

「きりしとほろ上人伝」の
舞台に出演



平成十八年九月二七～三十日の四日間にわたり、京都芸術センターにて催された公演「きりしとほろ上人伝」(同名原作・芥川龍之助、演出・茂山あきら)に駒之助、津賀寿が出演した。京都芸術センターは、「継ぐこと・伝えること」と称して伝統芸能の継承を目的としたプロジェクトを実施しているが、その番外編として、毎年、多分野でのコラボレーションを企画している。今回の公演は能(観世流シテ方、大江信行)、狂言(大蔵流狂言方、茂山童司)の各分野の役者がダブル

キャストで出演し、そこに人形(文楽座技芸員、吉田勘緑ほか)と、女流義太夫が加わるという豪華なコラボレーションが実現した。津賀寿は演奏のみならず作曲も担当し、役者の台詞以外はほぼ彼女の作曲による義太夫によって舞台は進行した。全体で一時間以上ある大作。脚本は現代語で記され、一見義太夫からは縁の遠い文章ではあるものの、それを両人の力で義太夫の世界に引き込み、見事淨瑠璃作品として仕上げた。

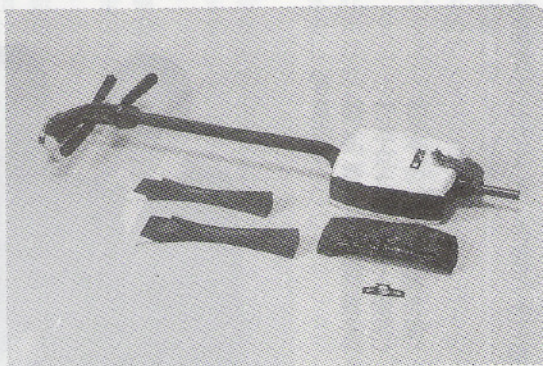
原作はキリシタン文学に題材をとったとされるもの。人間の争いをなくし、平和を望むというテーマで、最後は切なく、ほろりとさせるような内容であった。足かけ半年近く関わったこのプロジェクトは、様々な条件に応じて作曲、演奏する苦労もあったそうだが、それをしのぐ好評のうちに舞台を終えることが出来た。

【出演者のコメント】

台本が義太夫とは全く違った種類の文章で大変でしたが、私は義太夫でしかやれませんので(笑)。ただ役者さんがダブルキャストで、それぞれの描かれる人物像が全く違っていましたので、語り方はそのイメージによって変わります。いつもと違って、そうしたところにも気を使いましたね。(駒之助)

舞台監督や照明などのスタッフの方々が音楽を気に入って下さり、また大好きな茂山家の方々と一緒に仕事をすることができて、本

当に嬉しかったです。友人から資料をいただいたりして、作った苦労もありましたが、師匠の語りと一緒に演奏するうち、どんどん愛着が湧いてきました。再演出来る日を楽しみにしています。(津賀寿)



左ページ記事の三味線と刺繍入りの布の一部(東京藝術大学所蔵)

特集Ⅱその五

協会のお宝



「お宝になり損ったお宝

竹澤彌七の大三味線

前回は「鶴澤英治師の三味線と駒」を御紹介したが、今回は伝説の彌七の大三味線を紹介したい。彌七の大三味線とは、七代目彌七（天保二年生れ、師匠は六代目、明治九年歿46才）が明治七年頃、すべて大ぶりの三味線を考案し、諸処を巡演して喝采を得た。大正十二年刊の文楽名鑑「此君帖」に七代目の写真があり、通稱大三味線とあって有名な人であった。その三味線は歿後行方不明、現存なきものとして、幻の三味線といわれていた。

昭和五十一年十一月の或る日、協会事務所へ電話あり「私は岐阜県の長良川沿い山奥の旧家の者だが、土蔵を整理していたら、びっくりする程の大きな三味線が出てきた。七代目竹澤彌七という人の三味線らしいと分かり、文楽協会に電話したら、十代目彌七さんは十日程前に亡くなったばかり、また古い三味線はいりませんといわれた。依って明後日にも持参するので、鑑定し購入してもらいたい」とのこと。日時を打合せ待つことにした。

当日、古ぼけた家紋入柳行李を持ちこまれば、中を明けると、通常義太夫三味線を二回り程大きくした棹・胴・撥（二ヶ）・駒（三ヶ）



七代目竹澤彌七 (通稱大三味線)

と、演奏時の背景・敷物用の鳳凰他の刺繍入りの布、そして彌七師が三味線を構えた写真入り新聞切抜き、が入っていた。持主は「しばらくお預けします。値段は百万円位、御検討下さい」と帰った。私は、明治九年よりびつたり百年目に姿を現わした三味線と、百万円（今の三百万円以上）の高値という二重のびつくりを味わった。先ず鶴澤英治師に見てもらったら「父勇造は三味線・駒等の改良研究をしていたが、常々彌七の大三味線を見たかったし、どんな音色がしたか弾いてみたかった。柴健以前の名人石村幸吉の作品を見て感激した」。次の吉川英史先生は「私は三味線の楽器上の工夫改良は、先ず義太夫に始まり、次に地歌、次いで唄三味線と考えている。サワリなどもそうだと思う。彌七の大三味線の実験は貴重なものだ。この三味線が散佚しないようにしたい。協会は手が出ないだろうから、私が演博や文化財研究所に当りたい」。それから半年後の昭和五十二年七月、吉川先生の御盡力で、芸大芸術資料館に納った。

どの様な経過で岐阜の山奥の蔵に眠っていたか分らぬが、びつたり百年目に世に出、一瞬といえども協会のお宝になりかゝった三味線に再会したいと思っている。

竹本綾太夫

芸大資料館の係の方より、写真入り目録を作成するにあたって、収蔵されている大三味線を継いで欲しいという依頼がありました。学生だった私は当時入門したてで、右も左もわからない状態でしたが、あまりの大きさと重さに驚いたことはよく覚えています。駒の鉛は取れており、音の再現は出来ませんでした。現在実物に触れることは誠に困難なので、今になれば実に貴重な体験であったと思っています。

鶴澤三寿々



4ページの三味線を構えたところ

ほんに気がメくりヤス(二杯目)

鶴澤 慎治

「メリヤス」の語の起り

メリヤスという言葉は、南蛮貿易を通じて日本に入ってきたと考えられる編み物「Medias」(スペイン語で靴下、ストッキングの意)が訛ったもので、次第に「Medias」と同様の編み物全般をメリヤスと呼ぶようになったものと考えられています。

そしてそれが、「伸縮自在」という共通の特徴を持つ三味線音楽の呼称としても使われるようになった、というのが三味線音楽のメリヤスの語源に関する現在の通説ですが、皆様ご承知の様に、三味線音楽としてのメリヤスという言葉には、長唄の一様式としての名称と、義太夫の三味線による比較的短い器楽曲の二つの意味があります。この項では現在の慣例に従い、長唄の唄ものは「めりやす」、義太夫の器楽曲は「メリヤス」と表記いたします。

メリヤスの語源諸説の周辺

まず最初に、最有力候補である「伸縮自在のメリヤス」説以外の、メリヤスの語源に関するいくつかの説とその周辺をご紹介します。

「ぬめり」

享保十六年(一七三一)江戸中村座で上演された『傾城福引名護屋』の中で、京都から下った初世瀬川菊之丞扮する傾城葛城が、夫のために三百両の金を調達したいと、手水鉢を遠州小夜の中山の無間の鐘に見立てて打つ場面で、『無間の鐘』という曲が、やはり京都から彼に同行してきた坂田兵四郎らによって演奏されました。長唄のめりやす物の最古のものとされるこの曲について坂田兵四郎が、これが「ぬめり」というものであると語った、と伝えられるのが「めりやす」ぬめり転訛説の根拠の一つです。

「ぬめる(滑る)」は、(遊里を)うかれあるくというような意味の言葉です。「ぬめり」は、当時はやり唄の名称でもあり、また、歌舞伎で傾城の出に演奏された曲でもあるので、義太夫ではお馴染みの『十種香』奥庭狐火の段に取り入れられている地歌『狐火』を作曲した、元禄期の三味線の名人岸野次郎三郎は、この「ぬめり」を十七通りに弾き分けたという逸話が残っています。

坂田兵四郎は、平成の世に復活した上方俳優の名跡坂田藤十郎の初世の甥で、彼の東下りによって、それまで二上りの陽気な曲調が主流だった江戸の長唄に、いわゆる上方唄のしんみりとした三下りの曲調が加えられることになったといわれています。

この長唄のめりやす『無間の鐘』は、三下

りのしっとりした曲調で、同じ無間の鐘でも、一体この曲でどういう芝居をしたのかしら…と思ってしまう、『神崎揚屋』のそれとは正反対のもですが、『神崎揚屋』の無間の鐘の件は、菊之丞の演技を取り入れたものであることはよく知られています。享保頃成立の歌本『吟曲古今大全』では、『神崎揚屋』の「わしゃ帯解かぬ」の歌は、『無間の鐘』として、『傾城福引名護屋』の『無間の鐘』は『笠の段』(『時雨笠』)としてその歌詞が収録されています。「歌舞伎事始」の「古人古哥作者」の所に「むけんのかね 山本喜市・若村藤四郎兩人作」とあるのがおそらく「わしゃ帯解かぬ」の歌だと思えます。山本喜市は岸野次郎三郎と並び称された三味線の名人で、『酒屋』に取り入れられている『妹背川』は彼の作曲、また、『阿古屋琴責』の胡弓の件でお馴染みの「相の山節」に基づいた『相の山』もやはり彼の作曲で、作詞は文耕堂。これが地歌として伝承されていたものが、さらに黒御簾音楽に逆輸入されています。

元禄・享保の頃の京阪の歌舞伎において、俳優の演技や趣向に合わせて、京阪の芝居の音楽家や俳優、戯作者などによって作られたこれらの曲の曲調が、前述のような経緯で江戸にもたらされ、長唄のめりやす物が成立したと考えられています。なお、京阪の芝居で演奏されていた音楽の一部は、現在は「芝居歌」として、地歌の演奏家によって伝承されています。

それらの曲の内義太夫の方にお馴染みな

のは、やはり『堀川猿廻し』の冒頭に取り入れられている『鳥辺山』でしょう。近松門左衛門作詞と伝えられるこの曲は、最初歌舞伎の道行の地として芝居の音楽として演奏されたようです。それが地歌として伝えられたものが半世紀以上後に『堀川猿廻し』に取り入れられ、さらに大正時代に岡本綺堂が書いた歌舞伎『鳥辺山心中』にも取り入れられました。これも歌舞伎↓地歌↓人形浄瑠璃そして歌舞伎と、劇場音楽と座敷音楽の間を行き来した曲の一つといえるでしょう。

(以下次号)



お役立ち情報

— おみくじ吉凶学 —

今年も初詣で、おみくじを引く方も多いと思います。気になる吉凶の割合は、一般的に吉系統が六十五%、凶三十%、半吉が五%ぐらいとなっている様です。

大凶が殆ど無いのは、当然の気がします。稀な為、逆に強運とする向きもあります。半吉は、半凶とも取れますが、末吉の方は、時が経つにつれ吉に向う意味を持つとか。

心ならずも不吉な卦が出たら、神社境内の木や枝に結び付け、その根(大地)を通じて他界へ凶を戻してあげて下さい。

幸多き年でありませう様に……。

協会の動き

06年7月より
07年3月まで

9月16日	第9回巴の会	於厚木市文化会館
9月26日	女流義太夫演奏会	ひとみ座出演 於国立演芸場
9月29日	国立劇場40周年記念式典	於国立劇場
7月19日	女流義太夫演奏会	桂川連理榎 於国立演芸場
7月24日	義太夫教室第59期初級閉講式	於人形町スタジオ
8月1・2日	「ぎだゆう座」二日間	於上野広小路亭
8月4日	基本方針見直し中間まとめ説明会	於芸能花伝舎
8月4日	飯田人形劇フェスタ	車人形出演 於鼎公民館ホール
8月5日	於鼎文化センターホール	於シルクホテル
8月19日	一日体験教室	於人形町スタジオ
8月22日	横瀬美保、館林綾子、田上愛花 見習期間終了審査	
8月22日	女流義太夫演奏会	若手勉強会 於国立演芸場第二研修室
8月25日	舞踊会打合せ	於国立演芸場
9月1日	9月公演舞台打合せ	於協会事務所
9月1・2日	「じよぎ」公演	二日間 於国立演芸場
9月4日	編集部会	於上野広小路亭
9月7日	義太夫教室第59期中級閉講	於協会資料室
9月7日		於人形町スタジオ
10月21日	第85回大日本素義会	於鳥越神社白鳥会館
10月24日	女流義太夫演奏会	本朝廿四孝 於国立演芸場
10月30日	竹本京之助初舞台	於国立演芸場
10月31日	第12回越孝の会	於内幸町ホール
11月1日	平成19年度文化庁人材育成支援 事業申請書提出	
11月1・2日	「じよぎ」公演	二日間 於上野広小路亭
11月3日	祖先祭	於上野広小路亭
11月3日	公演部会	於両国回向院
11月8日	第39回竹本朝重りさいたる	
11月11日	国民文化祭やまぐち・俵山	於日本橋劇場
11月15日	女歌舞伎出演	於ルネッサ長門
11月16日	編集部会	於協会資料室
11月16日	女流義太夫演奏会	仮名手本
11月16日	忠臣蔵 鶴澤弥々初舞台	
		於国立演芸場

- 11月17日 事務局長会議 於芸能花伝舎
- 11月25日 日本芸術振興基金要望書提出
- 11月27日 公益法人制度改革に関する説明会 於都庁大会議室
- 11月29日 武蔵大学ワークショップ 於協会資料室
- 11月29日 邦楽会議 於協会資料室
- 12月1・2日 「ぎだゆう座」公演 二日間 於上野広小路亭
- 12月3日 藤間公珠舞踊会出演 於博多座
- 12月9日 鶴澤津賀花研修発表会 於上野広小路亭
- 12月10日 車人形公演出演 於三鷹公会堂
- 12月19日 西野浦歌見習終了審査 於国立演芸場第二研修室
- 1月1日 女流義太夫演奏会「仮名手本忠臣蔵」 於国立演芸場 会報第84号発行

〈寄贈品〉

- 三味線上がり糸 竹本連中三味線方
- 稽古本 竹本三駒様ご遺族
- 肩衣 竹本素八様ご遺族
- 稽古本

〈寄付〉

大日本素義会様
出月 清人様

三万円
五万円

国立演芸場
女流義太夫演奏会

年 月 日	曜
19年1月18日	木
3月 5日	月
3月22日	木
4月25日	水
5月22日	火
6月19日	火
7月19日	木
8月22日	水
9月19日	水
10月18日	木
11月19日	月
12月19日	水
20年1月28日	月
2月27日	水
3月21日	金

開場 6時
開演 6時半
月により日程が違います。
ご注意下さい。
どうぞよろしく
お願い申し上げます。

《今後の予定》

- 1月6日(土) 「ぎだゆう座」初春特別公演 於お江戸両国亭
- 1月11日～3月15日 木曜日 義太夫教室 第59期上級 於人形町スタジオ
- 1月13日(土) 鶴澤三寿々々第四回素浄瑠璃の会 於お江戸日本橋亭
- 1月22日(月) OB会番組編成会議 於協会資料室
- 1月29日(月) 編集部会
- 2月1・2日 「ぎだゆう座」公演 二日間 於上野広小路亭
- 2月17日(土) 鶴澤津賀花研修発表会 於お江戸日本橋亭
- 3月1・2日 「じょぎ」50回記念公演 二日間 於上野広小路亭
- 3月4日(日) 東京都邦楽演奏会 於国立小劇場
- 3月10日(土) 義太夫教室OB会 於スペースFSF沙留

【編集後記】

- 地球温暖化の為か、季節感がおかしい!!
誰でも、風邪をひくのが、あたりまえか?
- (T)
- インフルエンザの予防注射はもうお済みで
しょうか。
- (T2)
- 今年こそ優秀な編集部員を目指します。!
- (Y)
- 記事にある彌七師の大三味線を継いで持っ
た経験、今から思うとスゴイ!
- (S)
- 寒い時期であるという実感がどうしても湧
かず、いつも薄着です。
- (K2)
- 冷え症なので、指先が冷えがちです。今年
の冬も手袋、マフラー、ホッカイロで乗り
切ります!
- (K3)